

# Netfinity 8500R

クイック・セットアップおよびインストール





## **Netfinity 8500R**

クイック・セットアップおよびインストール

お願い

本 *Netfinity* サーバー・ライブラリーおよびそれによってサポートされる製品をご使用になる前に、本サーバー・ライブラリーの『特記事項および安全情報』の情報を必ずお読みください。

## 第 1 版 (1999 年 9 月)

本マニュアルについてご意見やご感想がありましたら

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.infocr.co.jp/ifc/books/>

をご覧ください。(URL は、変更になる場合があります)

原 典： 01K7572  
Netfinity 8500R  
Express Setup and Installation  
発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社  
担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1999.9

©Copyright International Business Machines Corporation 1999. All rights reserved.

Translation: ©Copyright IBM Japan 1999

---

# クイック・セットアップとインストール

このセットアップおよびインストールの項には、以下の作業を行うためのガイドが記されています。

- ご使用のサーバーのセットアップと配線
- サーバーの始動と構成
- ネットワーク・オペレーティング・システム (NOS) のインストール

---

## 目次

概要	1
安全に正しくお使いいただくために	2
絵表示について	2
ハードウェアの取り付け	6
ラックへのサーバーの取り付け	7
ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブの取り付け	7
追加のプロセッサの取り付け	8
サーバーの配線	9
サーバーが正しく動作しているかどうかの確認	11
追加オプションの取り付け	13
ソフトウェアのインストール	14
ハードウェアの構成および NOS のインストール	14
追加のプログラムのインストール	15

---

## 概要

本サーバー・ライブラリーの『特記事項および安全情報』の項をお読みになった後、『クイック・セットアップおよびインストール』の手順に従って実行するステップを以下に示します。

### ハードウェアの取り付け

- 1 サーバーをラックに取り付けます。
- 2 ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブを取り付けます。
- 3 追加のプロセッサ（オプション）を取り付けます。
- 4 サーバーを接続します。
- 5 サーバーが正しく動作しているか確認します。
- 6 追加のオプションを取り付けます。

### ソフトウェアのインストール

- 1 ハードウェアを構成し、NOS とデバイス・ドライバーをインストールします。
- 2 追加のプログラムをインストールします。

## 安全に正しくお使いいただくために

この製品を安全に正しくお使いいただくために、このマニュアルには安全表示が記述されています。このマニュアルを保管して、必要に応じて参照してください。

## 絵表示について

あなたとあなたの周りの人々の危害および財産への損害を未然に防止するために、このマニュアルおよびこの製品の安全表示では、以下の絵を表示しています。

 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

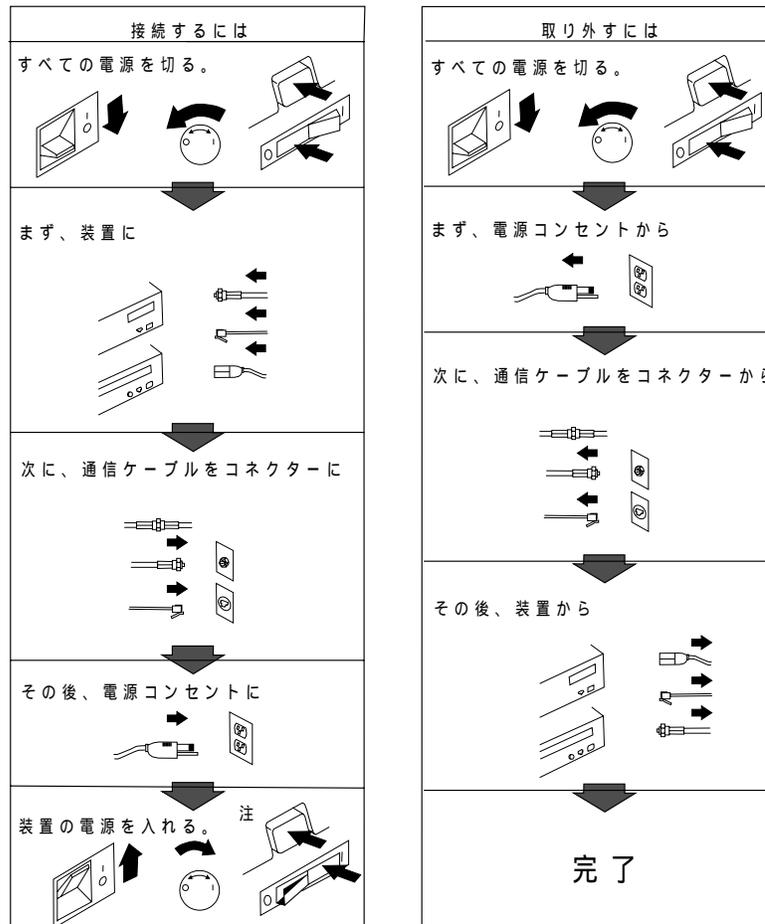
## 危険

- この製品を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- この製品の構成に電話ケーブル接続、通信ケーブル接続が含まれている場合、付近に雷が発生しているときは、それらのケーブルに触れないようにしてください。
- 電源プラグをコンセントに接続する前に、コンセントが正しく接地されており、正しい電圧であることを確認してください。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
- 万一、異物（金属片、水、液体）が製品の内部に入ったときは、すぐに製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

# ⚠ 危険

- ケーブル類の取り付け、取り外し順序。

電源コード、電話ケーブル、および通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。装置を設置、移動、または接続するときには、以下のようにケーブルの接続および取り外しを行ってください。また、電話回線、通信回線またはテレビのアンテナ線が接続されている製品は、雷の発生時には回線の接続または取り外しをしないでください。



## 注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ずプラグを持って抜いてください。）
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 長時間使用しないときは、電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

# 1 危険

電源ケーブル、電話ケーブル、および通信ケーブルからの電流は危険です。

感電事故を避けるには:

- 雷雨中は、ケーブルの抜き差し、あるいは本製品の取り付け、保守、または再構成は行わないでください。
- すべての電源コードは、正しく配線され、接地された電源コンセントに接続してください。
- 本製品に接続される装置は、正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 可能な場合は、片方の手だけを使用して、信号ケーブルを接続または切り離してください。
- 火災、水、または構造的な損傷の形跡がある場合は、決して装置の電源を入れないでください。
- 取り付け手順および構成手順で別に指示されている場合を除き、装置カバーを開く前に、接続された電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- 本製品または接続された装置のカバーを取り付け、移動、または開く場合には、次の表で説明されているようにケーブルを接続および切り離してください。

接続する手順:

1. すべての電源を切ります。
2. まず、すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに取り付けます。
4. 電源コードをコンセントに接続します。
5. 装置の電源を入れます。

切り離す手順:

1. すべての電源を切ります。
2. まず、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

—— アテンション、注意、および危険のただし書きの定義 ——

**アテンション:** プログラム、装置、またはデータを損傷するおそれのある状況を示します。

**注意:** 人体に危険となりうる状況を示します。

**危険:** 致命的または極度に危険となりうる状況を示します。

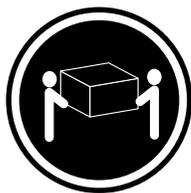
## ハードウェアの取り付け

このハードウェア取り付け手順では、サーバーのセットアップと接続、サーバーの始動、およびサーバー・ハードウェアが正しく機能しているかの確認を行うために必要な情報またはそれらの情報の参照が記載されています。

始める前に:

- 本サーバー・ライブラリーの『特記事項および安全情報』の項をお読みください。
- IBM® Netfinity® 8500R サーバーを開梱していない場合は、それを開梱し、本サーバー・ライブラリーの『はじめにお読みください』の項の「品目リスト」を使用して、サーバーと共に出荷されたすべての品目を受け取ったか確認してください。
- Netfinity 8500R に ServeRAID アダプターを取り付けようとしている場合は、サーバーを構成する前にディスク・アレイをどのようにセットアップしたいか決める必要があります。構成するディスク・アレイの RAID レベル (0、1、または 5) により、取り付ける必要があるハード・ディスク・ドライブの数が決まります。RAID レベル 0 は、ドライブを 1 台 (最小) 必要とし、RAID レベル 1 は、ドライブを 2 台 (最小) 必要とし、RAID レベル 5 は、ドライブを 3 台 (最小) 必要とします。追加情報については、ServeRAID オプションに付属の情報を参照してください。
- 追加のプロセッサを取り付けようとしている場合は、ご使用のオペレーティング・システムがマルチプロセッシング・オペレーションをサポートしているか確認してください。SMP をサポートするオペレーティング・システムのリストについては、WWW で<http://www.ibm.com/pc/us/compat/> を参照してください。

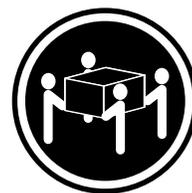
## 4 注意



≥18 kg



≥32 kg



≥55 kg

装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。

## ラックへのサーバーの取り付け

- 1 サーバーをラックに取り付けます。

取り付けの指示については、本サーバー・ライブラリーの『ハードウェア情報』のラック取り付け情報の項を参照してください。

- 2 『ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブの取り付け』へ進んでください

## ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブの取り付け

以下の手順を使用して、ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブを Netfinity 8500R サーバーに取り付けます。

- 1 ホット・スワップ・ベイの 1 つからフィラー・パネル **1** を取り外します。次の図を参照してください。

注: スリムハイト・ドライブを取り付けている場合は、フィラー・パネル **1** からスリム・フィラー・ベゼルを分離し、スリム・フィラー・ベゼルをハード・ディスク・ドライブ・ベイの上部に挿入します。それ以外の場合は、フィラー・パネルを安全な場所に保管します。

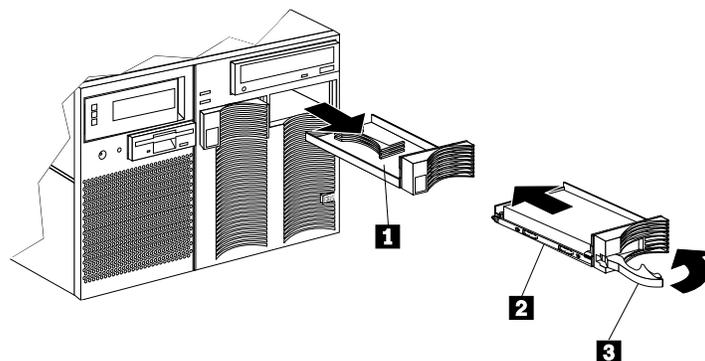
- 2 ドライブが入っている静電気防止袋をサーバーの塗装処理されていない金属面に接触させてから、ドライブを袋から取り出します。

- 3 ドライブ **2** をベイに挿入します。ドライブ上のトレイ・ハンドル **3** が開いた位置 (図に示すように完全に広げられている) にあるか確認します。

- 4 ドライブ・アセンブリーをベイに滑り込ませ、バックプレーンに接続されるまで押してから、ハンドルをロック (閉じた) 位置まで動かします。

注: 適正なシステム冷却を維持するため、各ベイにハード・ディスク・ドライブまたはフィラー・パネルが取り付けられていない状態で、サーバーを作動しないでください。

- 5 8ページの『追加のプロセッサの取り付け』へ進んでください



## 追加のプロセッサの取り付け

追加のプロセッサを取り付ける場合:

**1** ここで、プロセッサを取り付けます。

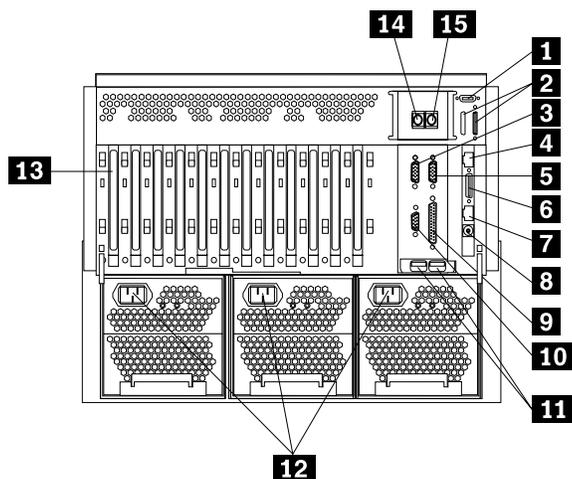
取り付けの指示については、本サーバー・ライブラリーの『ハードウェア情報』の“プロセッサ・ハウジング・アセンブリーの作業”の項およびプロセッサに付属の情報を参照してください。

**2** 9ページの『サーバーの配線』へ進んでください

## サーバーの配線

以下の手順に従って、Netfinity 8500R サーバーにケーブルを接続します。

- 1 サーバーにデバイス・ケーブルを接続します。ケーブル・コネクタの位置については、次の図を参照してください。



- 1 システム管理 PCI トークンリング・アダプター (オプション) 用の外部コネクタ  
ー・ロックアウト
- 2 外部 SCSI 装置ロックアウト (未使用)
- 3 シリアル・ポート A
- 4 システム管理 PCI アダプター 10/100 Mbps イーサネット・ポート
- 5 シリアル・ポート B
- 6 システム管理 PCI アダプター・デュアル・シリアル・ポート
- 7 システム管理インターコネクト・ポート
- 8 システム管理外部電源
- 9 パラレル・ポート
- 10 ビデオ・ポート
- 11 汎用シリアル・バス (USB) 1 と 2
- 12 電源機構
- 13 PCI 拡張スロット
- 14 キーボード・ポート
- 15 マウス・ポート

## 7 注意

電源コードに電源コード・ストレイン・リリーフ・ブラケット・オプションが取り付けられている場合、サーバーの電源コード・プラグは、接続しやすいコンセントに差し込む必要があります。

- 2 サーバーに電源コードを接続します。必要であれば、電源コード・ストレイン・リリーフ・クランプを取り付けます。

## 13 危険

電気回路ブレーカーに過負荷がかかると、特定の条件のもとでは火災および感電事故が発生する危険があります。これらの危険を避けるには、下記の文の指示を守ってください。

1. 100-127 V AC 電源に接続している場合は、各電源コードを個別の分岐回路に接続してください。
2. 200-240 V AC 電源に接続している場合は、分岐回路ブレーカーの定格は次のとおりです。
  - a. 13 アンペア以下の場合は、各電源コードを個別の分岐回路に接続します。
  - b. 14 アンペアから 19 アンペアまでの場合は、同じ分岐回路に 2 本を超える電源コードを接続しないでください。
  - c. 20 アンペア以上の場合は、同じ分岐回路に最大 3 本の電源コードを接続できます。

- 3 すべての電源コードを電源コンセントに接続します。

注: 適正なシステム冷却を維持するため、サーバーのトップ・カバーを取り付けずに、サーバーを 30 分を超えて作動させないでください。

- 4 11 ページの『サーバーが正しく動作しているかどうかの確認』へ進んでください

## サーバーが正しく動作しているかどうかの確認

ご使用の Netfinity 8500R サーバーが正しく動作しているかどうかを確認するには、以下の手順を使用してください。

- 1 モニター、プリンター、およびモデムなどの、すべての外付け装置の電源を入れてから、サーバーの電源を入れます。ボタンおよびライトの位置については、次のページの図を参照してください。

### 重要

サーバーの電源コード・プラグをコンセントに差し込んだ後、電源コントロール・ボタンを押す前に、電源オン・ライトが明滅して、電源がきていることを示します。

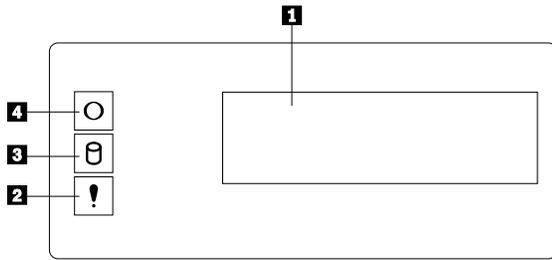
- 2 サーバーの前面の電源コントロール・ボタンを押します。システム電源ライトがオンになり、電源オン自己試験 (POST) が開始します。
- 3 モニターを監視します。システムがその POST を正常に終了すると、サーバーはピープ音を 1 回鳴らし、オペレーター・パネル表示装置に CP:71 が表示され、始動可能 (ブート可能) 媒体を挿入するよう求めるプロンプトがモニターに表示されます。

### 重要

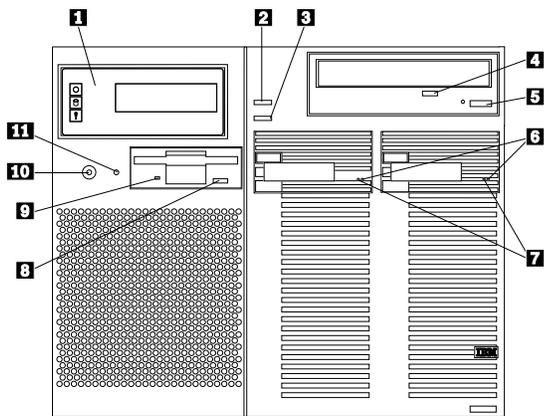
- この時点で F1 が押されると、オペレーティング・システムがインストールされていないので、次の POSTメッセージが表示される場合があります。  
1962 No operating system found. Press F1 to repeat boot sequence.
- オプションを追加または取り外した場合、構成情報が変化すると、POST メッセージ 164 が表示されます。Configuration/Setup Utility プログラムを開始し、「Save Settings」を選択します。
- 他のエラー・メッセージが表示されるか、複数のピープ音が鳴るか、モニター画面がブランクの場合は、指示については本サーバー・ライブラリーの『ハードウェア情報』の項の“問題解決”の項を参照してから、ここに戻り、13ページの『追加オプションの取り付け』へ進んでください。

- 4 13ページの『追加オプションの取り付け』へ進んでください

サーバーのボタンとライト:



- 1** パネル表示装置
- 2** システム・エラー・ライト
- 3** SCSI ハード・ディスク活動ライト
- 4** システム電源ライト



- 1** フロント・パネル
- 2** スクロール・ボタン
- 3** Enter ボタン
- 4** CD-ROM ドライブ使用中ライト
- 5** CD-ROM 取り出しボタン
- 6** ハード・ディスク・ドライブ状況ライト
- 7** ハード・ディスク・ドライブ使用中ライト
- 8** ディスケット取り出しボタン
- 9** ディスケット・ドライブ使用中ライト
- 10** 電源コントロール・ボタン
- 11** リセット・ボタン

## 追加オプションの取り付け

### 1 追加のオプションがある場合は、ここでそれらを取り付けてください。

取り付けの指示については、本サーバー・ライブラリーの情報、およびオプションに付属の情報を参照してください。

#### 重要

- 何らかのオプションを追加または取り外すと、サーバーの構成情報が変化することがあります。オプションを追加または取り外した後、サーバーを始動（ブート）すると、構成情報が変化した場合は、POST メッセージ 164 が表示されます。Configuration/Setup Utility プログラムを開始し、“Save Settings”を選択します
- 複数のネットワーク・アダプターを取り付けようとしている場合は、この時点では 1 つだけ取り付けてください。NOS をインストールし、エラーなしに開始した後、追加のネットワーク・アダプターを一度に 1 つずつ取り付けます。

他のすべてのアダプターを一度に取り付けることはできますが、アダプターを 1 つずつ取り付ける方が、欠陥のあるアダプターを特定するのがはるかに楽になります。

### 2 本サーバー・ライブラリーの『ハードウェア情報』の項に記載されている表を使用して、以下のことを行ってください。

- 装置記録の表を新しいオプション情報で更新する。
- サーバーのシリアル番号とキーのシリアル番号を記録する。

### 3 すべてのオプションを取り付けた後、14ページの『ソフトウェアのインストール』に進んでください。

## ソフトウェアのインストール

このソフトウェア・インストール手順では、ハードウェアを構成し、ネットワーク・オペレーティング・システム (NOS) およびアプリケーション・プログラムをインストールするのに必要な情報を提供します。

## ハードウェアの構成および **NOS** のインストール

始める前に:

- ServerGuide プログラムが開始しない場合は、本サーバー・ライブラリーの『ServerGuide と Netfinity マネージャー』の項にある“エラーの症状”を参照してください。
- ServeRAID 構成プログラムについての情報は、ServeRAID オプションに組み込まれています。

**1** *Netfinity* セットアップ・インストール CD (CD1) を挿入し、サーバーを再始動し、メニューが表示されたら、ご使用の言語およびキーボード・レイアウトを選択します。

**2** メインメニューが表示されたら、「インストールに関する技術情報の表示」をクリックし、ご使用の NOS およびアダプター用に提供された README 情報を読んでください。

**3** メインメニューに戻り、「**Netfinity** セットアッププログラムの実行によるハードウェア構成」をクリックします。

構成プロセスを完了したら、NOS インストール・プログラムを開始するようプロンプトが出ます。

**4** インストールしたい NOS をクリックし、オンラインの指示に従います。

ヘルプを見るには、任意の画面から ? をクリックします。

重要

NOS をインストールするのに ServerGuide を使用しない場合は、15ページの『ServerGuide を使わずに NOS をインストール』を参照してください。

**5** NOS がインストールされた後、必ず 15ページの『追加のプログラムのインストール』を参照してください。

## ServerGuide を使わずに NOS をインストール

サーバーのハードウェアをすでに構成し、ServerGuide を使用しないで NOS をインストールする場合、システムに固有な NOS インストール手順およびデバイス・ドライバを入手する必要があります。

最新レベルの NOS インストール手順およびデバイス・ドライバを、WWW から下記のアドレスでダウンロードできます。 <http://www.ibm.com/support>

- 1 「Servers」の下で「Netfinity」をクリックします。
- 2 「Select your family」フィールドから、「Netfinity 8500R」をクリックします。
- 3 「Netfinity 8500R」ウィンドウのリストから、「model」をクリックしてから、  
「Downloadable files」をクリックして、デバイス・ドライバをダウンロードします。  
あるいは  
「Software information」をクリックして、NOS インストール手順をダウンロードします。

## 追加のプログラムのインストール

便宜上、ServerGuide には、NOS のソフトウェア・ベンダーが提供する NOS の修正モジュールが収録されています。修正モジュールをインストールする場合は、ServerGuide オペレーティング・システム更新 CD のルート・ディレクトリーにある README ファイルを参照してください。

### アプリケーション・プログラム

ServerGuide CD には、各種の強力なアプリケーション・プログラムが収録されています。これらのプログラムには導入キーは不要です。これらのプログラムの一部には、以下のものがあります。

- IBM Update Connector

IBM HelpCenter サーバーに接続し、ご使用のサーバーの BIOS、マイクロコード (ファームウェア)、デバイス・ドライバ、およびアプリケーション・プログラムの更新をチェックします。

注: Update Connector のサポートは、インストールされている NOS によって異なります。

- IBM Netfinity マネージャー

最新のシステム管理ソフトウェア

- IBM ServeRAID プログラム

管理およびモニター機能

ServerGuide に組み込まれているアプリケーション・プログラムについて詳しくは、本サーバー・ライブラリーの『ServerGuide と Netfinity マネージャー』の項を参照してください。



部品番号: 46L3513

Printed in Japan



46L3513